

危機管理・国民保護コースにおける教育訓練

消防大学校では、地方公共団体の危機管理・防災実務管理者・国民保護担当者等に対する研修課程として、その業務に必要な行政動向等の知識及び能力を修得させることを目的に「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース」を実施しています。

令和6年度の危機管理・国民保護コース（第14回）では、学生38名が、消防大学校での8日間（令和6年5月15日～22日）の全寮制の集合教育を終え、全員が無事に修了しました。

研修は、消防庁担当者による国民保護法制の概要・ケーススタディ、専門家による危機管理の概論・図上訓練手法・報道対応、実災害を体験された職員による実務の紹介、総務省公務員部応援派遣室から災害時における職員の応援派遣など、各分野の講義を実施し、危機管理担当者の業務に必要な知識及び能力の修得に努めました。

危機管理広報・報道対応演習では、有事の際、地域住民に対する迅速かつ正確な情報を発信するために、その知識や手法を学び、模擬的な報道演習を実施しました。

課題討議では、近年の不安定な国際情勢及び大規模化する自然災害等のテーマについて、各班で討議し、その討議結果を発表しました。各自治体が直面している問題点・課題を共有し、課題解決に向けての対策・取組など、活発な意見交換が行われました。

研修を終えた学生からは、「制度的な知識を得られ、実際の災害対応をされた方々の貴重な体験を教えて頂けた。また、課題討議の中で市役所や消防における課題について知ることができ、有益でした。」「グループワーク等を通じて、各自治体の現状、取組みが共有できた。」「消防のみならず、行政職、自衛官、警察官の方が集い、意見交換を行えるととてもいい場であった。」等の意見が多く寄せられました。

今後は、消防大学校での気づきと学び、共同生活で培った各自治体のネットワークを活かして、各自治体の課題解決及び事業を推進していく先駆者として、活躍が期待されます。



グループワーク



危機管理広報・報道対応演習



課題討議（発表）

問合せ先

消防大学校教務部
TEL：0422-46-1712



消防大学校だより



救助科における教育訓練 ～理想の救助隊長像を求めて～

消防大学校では、救助業務に関する高度の知識及び能力を専門的に修得させるとともに、教育指導者としての資質を向上させることを目的として専科教育「救助科」の教育訓練を実施しています。

令和6年度の第88期（4月17日から6月7日まで）では、48名の学生が240時間の教育訓練を終え無事卒業しました。

救助科では、今年度より、6回の校外研修を実施し、各様々な分野の安全管理に重点におき、実際の現場にそくした訓練場で訓練を実施することで、プロとしての目線をやしない、救助技術の高度化を取り入れた訓練内容を検討し、訓練を実施しました。

実科訓練では、学生自らが企画・立案・調整・運営まで一連の流れを実践する「学生企画訓練」を実施しました。約1か月の準備期間の中で2日間に及ぶ各種訓練を学生主体で計画し、近隣の教育支援隊だけでなく、東北地方や九州地方からも特別高度救助隊の教育支援隊を受けました。また支援教官（前期学生）を招き訓練を通し、企画・調整及び当日の運営全般に至るまでの評価をいただき、訓練指揮者としての企画運営力の向上に努めました。

また、実動訓練においては「現場指揮」と「安全管理」訓練を大きな2本柱とし、火災救助、山岳救助、震災救助等の一般的な救助事象から地域性のある救助事象に対する訓練をはじめ、各地域で発生している多数傷病者対応、大規模イベントにおいて発生が想定されるNBCテロ災害等の大規模災害対応など、多岐に渡る内容で訓練を実施し、現場指揮者として指揮・判断力や安全管理について実践的に習得してもらいました。さら校外研修で東京消防庁災害史安全教育室を訪れ、改めて人の命の尊さを通じて、殉職事故を起こさないために、あらゆる手段を講じることを誓いました。

最終の課題研究発表では、約1ヶ月半研究した内容をマインド編、現場編、訓練編に分け、発表しました。講師や消防庁の担当者と意見交換を実施したことにより、「理想の救助隊長像」がより明確になりました。

研修を終えた学生からは、「幹部・指揮者・指導者として、多くの気づきと学びがあり、非常に充実したカリキュラムであり、人として成長できた。そして全国から集結した熱い思いを持った仲間と出会えたことは、今後の消防人生において大きな財産になった。」「理想の救助隊長像として今の自分に何が足りないのか、何をす

べきなのかが明確となりました。」「みんなとともに悩みや解決策を見出し、少しでも信頼されるリーダーに近づけた。」等、有益であったとの意見が数多く寄せられました。

今後は、消防大学校で得た気づきをさらに発展させ、素晴らしい人材を育成することで、殉職事故を発生させない組織を作り、一人でも多くの住民の生命・身体・財産を守る活躍を期待しております。

【～時間は有限 努力は無限 後悔は永遠～ 救助科第88期】



企画総合訓練



課題討議Ⅱ



全員写真

問合せ先

消防大学校教務部
TEL：0422-46-1712